

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

10月4日に来年度入社予定の学生を招き、内定式を行いました。

毎年、価値観の合う仲間に出会う為の新卒採用を続け今年で第7期になり、年輪を重ねる様に社員の絆が強く逞しく成長を実感するし、会社に良い影響を与えています。

来年度の入社予定は9名、価値観の合う素晴らしい仲間たちが増え共に会社の未来を作れることを心から楽しみにしています。

さて、今月の社長からの手紙は、先日執り行われた、経営方針発表会と内定式を振り返って思うことを綴ってみたいと思う。今回の経営方針発表会は最低限の人数で開催したため、毎年楽しみにして日頃働いている人も多いと思うので、招待できなかった事を本当に残念に思います。※来年は多くの人を招いて開催ができることを期待しています。

今回の参加者は理念に共感した新卒社員を中心に集まり、1年の方針と内定式を開催した。今年で火の魂カンパニーも13期を迎えるので、経営方針発表会も第13回を迎えることになり、1期も抜けることなく13期連続で継続して開催できている。

正直、伝説の第4期経営方針発表会は、創業メンバーである安達と2人きりで発表会を開催したこともあり、内容よりも「継続」に重きを置いている。

私は今回の経営方針発表会でも感じたことだが、どんなに素晴らしいことでも継続しなければ成果や結果は出ないし、誰でも出来ることを誰もが続けられないくらい熱心に続けることが、「理想」や「夢」を叶える唯一の道だと確信している。理想の会社を創りたいのなら、会社の方針や方向性を社長が10年間同じことを全社員の前で言い続けられれば、確実に理想の会社へ近づける事を実感している。それは私だけでなく、私のメッセージを聞き続けている古くからともに歩む社員ほど、会社の夢に確実に近づいていると実感しているだろう。過去に創業社員の安達と2人で経営方針（私の夢）を語ったとき、正直な話、夢など語れないほどの厳しい現実と直面していたし、社長である私の未熟さから招いた問題であることは重々承知の上で、人の問題に悩み苦しみがき続けた時期があった。夢を共に目指す仲間が去っていき、自分を責め、本当に未来が真っ暗で迷っていた時に、第4期の伝説の経営方針発表会を2人きりで開催した。その時の「経営方針発表会を継続」した決断は、今ならはっきりと意味や意義のあるものと実感する。

夢は前向きな時は誰でも語れる、しかし夢を叶えていく人は自分自身が崖っぷちで、もがき苦しい時に「夢」を諦めずに理想を語れるか？が夢を叶えていく人の共通点だと言えます。私も何度も目の前が真っ暗になる時がありましたが、その時に自分の夢という先に見える光だけを信じて、諦めずに少しずつですが理想に近づいています。

夢は必ず叶うし、誰だってなりたい自分に必ずなれる事を、火の魂カンパニーで働く社員の成長を通して、多くの人に伝えていきます。